

# 委員会報告

## 総務常任委員会

本会議において付託された陳情第3号「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出を求める陳情について審査しました。委員から国権に関することではあるが、法整備は必要であり、その内容について研究すべきである等の意見があり、慎重審査の結果、全会一致をもって継続審査とすべきものと決しました。

## 社会経済常任委員会

本会議において付託された陳情2件について審査いたしましたので、その経過及び結果について報告いたします。

「陳情第4号 安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書」を議題とし、直ちに審査に入り、医療・介護現場での離職者の多い現状を踏まえ、慎重審査の結果、全会一致をもって採択すべきものと決しました。

次に「陳情第5号 介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情書」を議題とし、直ちに審査に入り、介護事業の安定のために、引き続き介護職員処遇改善は

必要であると考えられ、慎重審査の結果、全会一致をもって採択すべきものと決しました。

## 予算決議特別委員会

本会議において付託された平成24年度一般会計補正予算（第5号）及び平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）を審査

慎重審査の結果、全会一致をもって可決すべきものと決しました。内容については、次の通りです。

Q. 固定資産税の減額理由は何か。  
A. 平成24年度は3年に1度の評価替えの年で、家屋の経年減点補正率後の価格の下落が見込より大きかったためです。

Q. 防災行政無線施設費の増額理由は何か。  
A. 防災行政無線のデジタル化に伴う戸別受信機の外部アンテナ設置について、電波調査をした結果、当初見込んでいた55基から530基に増加したこと、馬山山瀬地区から要望された屋外子局1基の増設によるものです。

Q. 荒船風穴の説明看板は、どこに設置するのか。  
A. 設置場所は、史跡内と駐車場を考えています。内容は、1・2・3号風穴及び番舎（管理棟）跡の説明及び今までの調査等を載せたかと考えています。風穴内の温度

と周辺の温度表示が見られる物も予定しています。

Q. 馬山多目的グラウンドの案内看板設置の詳細について

A. 富岡から下仁田方面に向かっては入口にある既存の標識柱に添架し、大きさは高さ2・5m・横60cmの縦型です。富岡方面に向かっては支柱高さ5mの逆L字型の看板で横2m・高さ50cmの大きいです。入口の付近は歩道に街路樹がありますので、街路樹の下仁田側に標識柱の設置を計画しています。デザインについては白字に青色の文字で表示を考えています。

Q. 町道からグラウンド入口の看板及び植栽は、大型バス等が入る場合に支障となるため考慮されたい。

Q. 福祉の湯が閉鎖されたが、これからの活用はどう考えているのか。

A. 9月末で老朽化のために閉鎖させていただいた。建物の利用は先述のように無理と考える。解体の方向で考えたい。ガス管の施設等があり、使用できる土地に制限があると考えられ、今後の検討課題です。

Q. 計画等の用途は。

A. 25年度当初予算を編成中なので、そこでも協議したい。もう少し時間をいただきたい。

Q. 椎茸等振興対策は放射能関係の事業か。

A. 放射能関連事業ではなく菌床椎茸の全自動接種機の購入に対す

る補助です。内訳はJAが購入する金額に対し、県が1/2、町が1/10を補助するものであり、1,415千円の補正増を計上しました。



## 公開質問状に対する調査特別委員会

去る9月定例議会に於いて発足した公開質問状に対する調査特別委員会の調査の経過と結果について報告致します。

本委員会は、6月定例議会に於ける佐藤博議員（当時）の一般質問の内容に事を発し議員協議会に於いてその問題が取り上げられました。

個人的案件に対し議員が介入した事が適か不適かが問題となり、議員協議会に於いて3回協議をした結果、調査委員会を設け、更に特別委員会として議会の議決を経て調査を重ねて参りました。

その基本としては、

- ① 法的問題にとらわれない。
- ② 議員が教育委員会に個人的問題

で介入した事が適か不適か。③それによって教育委員会関係者への影響がどうか。以上の項目について調査をして参りました。

公開質問状を受けた教育委員会、又提出した佐藤博議員（当時）、木暮弘元議員双方に対しそれぞれ事情聴取を実施。

その結果、教育委員会の見解としては、

・スポーツ推進委員嘱について、教育委員会推薦、地区推薦、スポーツ推進委員推薦があるが木暮弘元氏については、議会議員の立場になった以上、教育委員会推薦は出来ないとの見解。（結果的にスポーツ推進委員推薦により5月21日に委嘱状交付）

公開質問状提出者の見解については、

・「認識のない人に対しいくらお願いをしても議論は平行線と考え公開質問状の提出に至りました」との見解（4月20日教育委員会に提出）

以上の点を踏まえ、双方から事情聴取をした結果、又関係機関、専門家の見解を参考に調査特別委員会としての結論は、下記の通りと致しました。

## 記

- ① 議会議員がスポーツ推進委員の推薦を教育委員会から得ようと